



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月2日

上場会社名 株式会社 山形銀行  
 コード番号 8344 URL <http://www.yamagatabank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 長谷川 吉茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 笹 浩行  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 023-623-1221

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,529	8.3	3,198	39.7	2,189	36.4
2020年3月期第3四半期	33,283	6.0	5,301	26.0	3,442	21.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 13,855百万円 (112.6%) 2020年3月期第3四半期 6,516百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	67.15	
2020年3月期第3四半期	105.60	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,975,935	160,612	5.4
2020年3月期	2,653,119	147,706	5.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 160,446百万円 2020年3月期 147,545百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,100	11.2	3,300	28.8	2,100	17.2	64.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	34,000,000 株	2020年3月期	34,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,390,863 株	2020年3月期	1,404,965 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	32,603,220 株	2020年3月期3Q	32,594,439 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
[説明資料] 2021年3月期 第3四半期決算の概要について【単体】	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、資金運用収益や国債等債券売却益の減少などから、前年同期比27億54百万円減収の305億29百万円となりました。また、経常費用は、金融派生商品費用等のその他業務費用が減少したことなどから、前年同期比6億51百万円減少の273億30百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比21億3百万円減益の31億98百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同12億52百万円減益の21億89百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比3,228億円増加し2兆9,759億円、純資産は同129億円増加し1,606億円となりました。

主要勘定につきましては、貸出金は、前連結会計年度末比345億円増加し1兆7,477億円となりました。預金等は、前連結会計年度末比2,572億円増加し2兆6,255億円となりました。また、有価証券は、前連結会計年度末比1,376億円増加し8,957億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に対する進捗状況は、親会社株主に帰属する四半期純利益が計画を上回っておりますが、与信関係費用や有価証券関係損益について、今後の経済状況等により変動する可能性があるため、2020年5月14日公表の通期業績予想を変更しておりません。

今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	86,123	237,055
コールローン及び買入手形	1,310	1,067
買入金銭債権	8,051	7,635
金銭の信託	481	977
有価証券	758,083	895,754
貸出金	1,713,248	1,747,752
外国為替	2,491	704
その他資産	52,907	56,947
有形固定資産	15,445	16,036
無形固定資産	3,554	3,441
繰延税金資産	1,965	374
支払承諾見返	19,281	18,759
貸倒引当金	△9,824	△10,570
<b>資産の部合計</b>	<b>2,653,119</b>	<b>2,975,935</b>
<b>負債の部</b>		
預金	2,267,133	2,480,574
譲渡性預金	101,111	144,957
コールマネー及び売渡手形	19,589	-
債券貸借取引受入担保金	65,505	11,020
借入金	13,505	137,424
外国為替	29	308
その他負債	16,790	16,880
役員賞与引当金	22	11
退職給付に係る負債	468	302
役員退職慰労引当金	9	9
株式報酬引当金	101	90
睡眠預金払戻損失引当金	168	135
偶発損失引当金	304	254
ポイント引当金	50	52
利息返還損失引当金	56	56
繰延税金負債	13	3,219
再評価に係る繰延税金負債	1,270	1,264
支払承諾	19,281	18,759
<b>負債の部合計</b>	<b>2,505,412</b>	<b>2,815,323</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	12,008	12,008
資本剰余金	10,215	10,215
利益剰余金	125,128	126,341
自己株式	△3,173	△3,142
<b>株主資本合計</b>	<b>144,179</b>	<b>145,423</b>
その他有価証券評価差額金	6,865	16,666
繰延ヘッジ損益	△3,267	△1,780
土地再評価差額金	1,109	1,105
退職給付に係る調整累計額	△1,342	△967
その他の包括利益累計額合計	3,365	15,023
非支配株主持分	161	165
<b>純資産の部合計</b>	<b>147,706</b>	<b>160,612</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,653,119</b>	<b>2,975,935</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	33,283	30,529
資金運用収益	18,737	17,892
(うち貸出金利息)	12,851	12,680
(うち有価証券利息配当金)	5,717	5,102
役務取引等収益	5,539	5,360
その他業務収益	7,567	5,747
その他経常収益	1,438	1,528
経常費用	27,981	27,330
資金調達費用	1,651	1,040
(うち預金利息)	490	370
役務取引等費用	1,882	1,814
その他業務費用	7,164	5,615
営業経費	16,377	16,823
その他経常費用	907	2,036
経常利益	5,301	3,198
特別損失	149	68
固定資産処分損	145	12
減損損失	3	56
税金等調整前四半期純利益	5,151	3,129
法人税、住民税及び事業税	1,008	1,214
法人税等調整額	698	△277
法人税等合計	1,706	936
四半期純利益	3,445	2,192
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,442	2,189

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	3,445	2,192
その他の包括利益	3,070	11,662
その他有価証券評価差額金	2,243	9,800
繰延ヘッジ損益	715	1,486
退職給付に係る調整額	111	375
四半期包括利益	6,516	13,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,512	13,851
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(追加情報)

(貸倒引当金の計上基準)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、当行グループの会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定に重要な変更はなく、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やそれに伴う経済活動の停滞により、貸出金等の信用リスクに影響を及ぼす可能性はあるものの、当連結会計年度後半以降は徐々に落ち着きを取り戻すことを想定しており、債務者の返済能力に及ぼす影響は限定的であるとの仮定において当行グループは貸倒引当金を算定しております。

なお、仮定に係る不確実性は高く、感染拡大状況、社会状況、経済状況が変化した場合には、当連結会計年度以降の業績に影響を及ぼす可能性があります。



〔説明資料〕

2021年3月期 第3四半期決算の概要について

1. 損益の状況【単体】

- 業務純益  
資金利益は増加したものの、その他業務利益の減少や一般貸倒引当金繰入額の増加などから、業務純益は34億29百万円(前年同期比△9億43百万円)となりました。
- 経常利益  
業務純益の減少に加え、不良債権処理額の増加などから、経常利益は31億37百万円(同△17億3百万円)となりました。
- 四半期純利益  
経常利益の減少などから、四半期純利益は23億74百万円(同△8億59百万円)となりました。  
なお、通期業績予想に対する進捗状況は、経常利益および四半期純利益が計画を上回っておりますが、与信関係費用や有価証券関係損益について、今後の経済状況等により変動する可能性があるため、2020年5月14日公表の業績予想を変更していません。

(単位:百万円)

	2021年3月期 第3四半期 (9ヵ月累計)	前年同期比	2020年3月期 第3四半期 (9ヵ月累計)	2021年3月期 通期 公表予想値
	1 経常収益	25,710	△ 2,515	28,225
2 業務粗利益	19,275	△ 301	19,576	
3 (コア業務粗利益)	19,403	162	19,240	
4 資金利益	17,493	119	17,374	
5 役務取引等利益	2,157	△ 138	2,296	
6 その他業務利益	△ 375	△ 281	△ 93	
7 うち債券関係損益 ①	△ 140	△ 1,725	1,584	
8 うち金融派生商品損益(債券関係) ②	12	1,261	△ 1,249	
9 経費(除く臨時処理分)	15,253	50	15,203	
10 人件費	7,541	△ 233	7,775	
11 物件費	6,718	366	6,351	
12 税金	993	△ 82	1,076	
13 実質業務純益	4,021	△ 351	4,373	
14 コア業務純益	4,149	112	4,037	
15 除く投資信託解約損益	3,853	228	3,624	
16 一般貸倒引当金繰入額(A)	592	592	-	
17 業務純益	3,429	△ 943	4,373	
18 臨時損益	△ 291	△ 759	467	
19 うち株式等関係損益 ③	1,076	299	777	
20 うち不良債権処理額(B)	576	327	248	
21 うち貸倒引当金戻入益(C)	-	△ 122	122	
22 経常利益	3,137	△ 1,703	4,840	2,700
23 特別損益	△ 68	80	△ 149	
24 税引前四半期純利益	3,069	△ 1,622	4,691	
25 法人税等合計	694	△ 762	1,457	
26 四半期純利益	2,374	△ 859	3,233	1,800
27 有価証券関係損益(①+②+③)	948	△ 164	1,113	
28 与信関係費用((A)+(B)-(C))	1,168	1,041	126	

(注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務粗利益=業務粗利益-債券関係損益-金融派生商品損益(債券関係)

3. コア業務純益=実質業務純益-債券関係損益-金融派生商品損益(債券関係)

4. 業務純益=実質業務純益-一般貸倒引当金繰入額

2. 主要勘定【単体】

(1) 貸出金

貸出金は、個人向け貸出や地方公共団体向け貸出は減少したものの、一般貸出が増加したことから、前年同期比601億円増加し、1兆7,563億円となりました。

(単位:百万円)

	2020年12月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
1 貸出金	1,756,365	34,471	60,161	1,721,894	1,696,204
2 一般貸出	870,554	67,578	87,240	802,976	783,314
3 個人向け	592,404	△2,490	△1,340	594,894	593,744
4 うち住宅ローン	559,905	122	△110	559,783	560,015
5 地方公共団体向け	293,407	△30,617	△25,739	324,024	319,146
<b>【参考】</b>					
6 中小企業等貸出残高	1,131,381	41,546	43,142	1,089,835	1,088,239

(注) 1. 一般貸出は、法人および個人に対する事業性貸出の合計残高であります。  
2. 中小企業等貸出残高は、中小企業および個人に対する貸出の合計残高であります。

(2) 預金(譲渡性預金含む)

預金ならびに譲渡性預金は、個人預金や法人預金の増加などから、前年同期比2,880億円増加し、2兆6,312億円となりました。

(単位:百万円)

	2020年12月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
1 総預金(預金+譲渡性預金)	2,631,278	257,044	288,018	2,374,234	2,343,260
2 法人預金	624,362	98,518	71,869	525,844	552,493
3 個人預金	1,722,863	121,210	105,035	1,601,653	1,617,828
4 公金預金	206,525	6,493	63,311	200,032	143,214
5 金融機関預金	77,525	30,823	47,802	46,702	29,723

(3) 預かり金融資産の状況

預かり金融資産は、投資信託や生命保険が減少したことなどから、全体では前年同期比41億円減少し、2,778億円となりました。

(単位:百万円)

	2020年12月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
1 預かり金融資産	277,876	10,477	△4,134	267,399	282,010
2 投資信託	55,243	5,647	△3,729	49,596	58,972
3 公共債	24,635	2,400	2,944	22,235	21,691
4 生命保険	197,998	2,430	△3,349	195,568	201,347

(注) 生命保険は有効契約残高を記載しております。

(4) 有価証券

有価証券の期末残高は、国債への再投資を抑制する一方、投資信託や社債などの収益が見込まれる資産への投資を進めた結果、前年同期比1,243億円増加し、8,966億円となりました。  
 その他有価証券の評価損益は、債券や株式の評価損益が減少した結果、前年同期比27億円減少し、240億円となりました。

【期末残高】

(単位:百万円)

	2020年12月末			2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
1 有価証券	896,662	137,668	124,301	758,994	772,361
2 国債	162,208	3,228	△25,220	158,980	187,428
3 地方債	190,713	△13,257	307	203,970	190,406
4 社債	135,305	9,190	9,171	126,115	126,134
5 株式	35,411	2,862	△79	32,549	35,490
6 その他の証券	373,022	135,643	140,121	237,379	232,901
7 うち外貨建外国証券	72,634	13,622	17,444	59,012	55,190

【その他有価証券評価損益】

(単位:百万円)

	2020年12月末			2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
8 有価証券	24,008	14,050	△2,742	9,958	26,750
9 株式	13,621	2,297	△1,563	11,324	15,184
10 債券	2,781	△1,581	△2,962	4,362	5,743
11 その他	7,605	13,332	1,783	△5,727	5,822

3. 自己資本比率(国内基準)【単体】

2020年12月末の自己資本比率(国内基準)については、現在算出中であり、確定次第別途開示する予定です。

4. 金融再生法開示債権【単体】

金融再生法開示債権は、前年同期比17億円増加し、237億円となりました。  
 不良債権比率は、前年同期比0.05ポイント上昇の1.32%となりましたが、引き続き良好な水準を維持しております。

(単位:百万円、%)

	2020年12月末			2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,786	△216	△1,321	4,002	5,107
2 危険債権	13,504	909	3,554	12,595	9,950
3 要管理債権	6,508	△981	△463	7,489	6,971
4 開示債権合計(A)	23,799	△288	1,770	24,087	22,029
5 総与信合計(B)	1,791,584	36,498	62,036	1,755,086	1,729,548
6 不良債権比率(A)/(B)	1.32	△0.05	0.05	1.37	1.27

以上